

## 作品資産を守り抜くために アーカイブ環境をWasabiとQNAPでクラウド移行 運用管理コスト80%減に目途

“インフラコストは既存のシステムとそれほど変わらない状況で、管理運用コストは80%ぐらいは減るのではないかと考えています。HDD障害対応や、ハードウェア更改対応から解放されて、本来のシステム管理業務に専念できるのは非常に大きいです。さらに、新ソリューションを導入したことで、拡張性も持てるようになりました”

株式会社カラー システム部 主任 システムエンジニア 三澤 一樹氏

### 概要

映像企画製作会社である株式会社カラーでは、『エヴァンゲリオン』シリーズなど全作品資産をこれまでオンプレミスシステムでアーカイブしていました。しかし、ハードウェア運用管理に手を取られる事と、データを失うリスクを抱えていた事から、クラウド移行を決断。同社が選定したのはTooの提案した低価格の高速クラウドストレージサービス「Wasabi Hot Cloud Storage」と、柔軟性と拡張性を兼ね備えたネットワークストレージ「QNAP」を組み合わせたソリューションでした。移行完了後は、運用管理コストの80%減が見込まれており、より本質的なシステム企画・管理業務に集中できると期待されています。導入の背景や効果を、同社のシステムインフラの構築・運用を担う、システム部 主任 システムエンジニア 三澤 一樹氏に伺いました。

### 課題

同社には、2006年の設立以来、『エヴァンゲリオン』シリーズを始めとする複数の作品の静止画ファイル、動画ファイル、連番出力ファイル（静止画ファイルに連番名がついたもの）などの中間制作物が多くアーカイブされています。それらは現在まで営々と蓄積され、その容量は500TBに上ります。これらのファイルは同社にとってまさに資産であるため、消去することはありえません。そのため、新しい作品が制作されるにつれ、データ容量はさらに増えていきます。

これまで、こうした作品ファイルはオンプレミスでアーカイブされていました。具体的に採用されていたのはQNAPのNAS(Network Attached Storage)です。500TBと容量が大規模であるため、HDDの数にして60台以上となっていました。ハードウェアには障害につきもので、RAID5で冗長構成は組んでいたものの、時には複数のHDDに続けて不具合が起こることがありました。三澤氏は、次のように語ります。

「何かあればすぐ新しいHDDを手当てする運用を確立していますが、さすがに立て続けに起こると『データを失ったらどうしよう』と不安になり、夜もよく眠れない状態でした。また、1台のHDDに収めているデータ容量が大きいため、交換になると、データを復元・再構築するリビルドで1~2週間かかっていました。どうしてもその進捗が気になるため、より本質的に取り組むべき仕事の後回しになりがちです。さらに、リビルドが走るとNASのパフォーマンスが落ちるため、社内ユーザーの業務効率に影響を及ぼします」

またオンプレミスシステムの場合、メーカー保守満了に伴って、ハードウェア更改を行わなければならないかもしれません。そしてストレージ容量が大きいため、完全に移行を終えるのに6カ月もの時間が必要でした。更改時期がめぐってきた2023年、三澤氏はこの繰り返しから脱却する方法を模索することにしました。

### ソリューション

考えたのはクラウドへのアーカイブです。当初は他社製品を検討していましたが、ストレージ料金に加えてデータの下り転送料が発生するのがネックでした。同社の場合、必要に応じてファイルをダウンロードすることになり、月当たりいくらの下り転送料が発生するか予測することができません。コストをコントロールできないというのは回避したい事態でした。

そうした中、Wasabiの提案がありました。

「料金が低価格で、下り転送料も発生しない、容量だけを考えればすむというのは、コストを見積もる上で非常に重要でした。その総額も、既存のオンプレミスシステムとほぼ変わらないというのも、稟議を通す上でプラス要因でした」

### お客様

株式会社カラー  
XαPα

### 業界

映像製作業

### ユースケース

データアーカイブ

### 課題

- 大きな負荷がかかっていた障害対応や更改対応
- データ消失リスクに大きな不安
- メガクラウド移行はコストコントロールが困難

### ソリューション

Wasabi Hot Cloud Storage  
QNAP

### 導入結果

- ハードウェア運用管理からの解放
- データ消失リスクからの解放
- 既存のシステムとほぼ変わらないコストを維持
- 運用コスト削減

このソリューションは、今まで同様コストコントロール可能な状態でデータをアーカイブすることができ、しかもクラウドであるため、移行後は永久にハードウェア障害対応から解放されることを意味しました。

具体的なシステム構成内容は次のとおりです。クラウドオブジェクトストレージにWasabiを採用し、ダウンロードするファイルの受け皿としてカラー側に60TB容量のQNAP NASおよびQNAPアプリケーションHybridMountを配置します。実体は常にWasabi側にあり、ファイルはその都度QNAPへダウンロードします。HybridMountは、パブリッククラウドサービスとリモートデバイスをリモートマウントすることによって、クラウドストレージへのアクセスを低遅延にすることを可能にします。また、QNAP NASは既存のシステムでも利用していたため、社内ユーザーにとってなじみがあり、データのアーカイブ場所がWasabiになってもまったく変わらないというメリットもあります。

「接続はものすごく簡単でした。Tooに検証機を用意してもらい、何度か試してみましたが、毎回問題なく再現できたので、これで全然問題ないなと思いました。仮にQNAPが壊れたとしても、また別の筐体を持ってきてつなげばよいだけで、データの損失リスクはないということも確認できました」

パフォーマンスに関しては、平均5GBぐらいある3Dモデルファイルを何度か転送してみたそうです。オンプレミスシステムとほぼ遜色ないレベルのパフォーマンスを実現しており、これなら社内ユーザーの体感に響くほどではないだろうと判断されました。

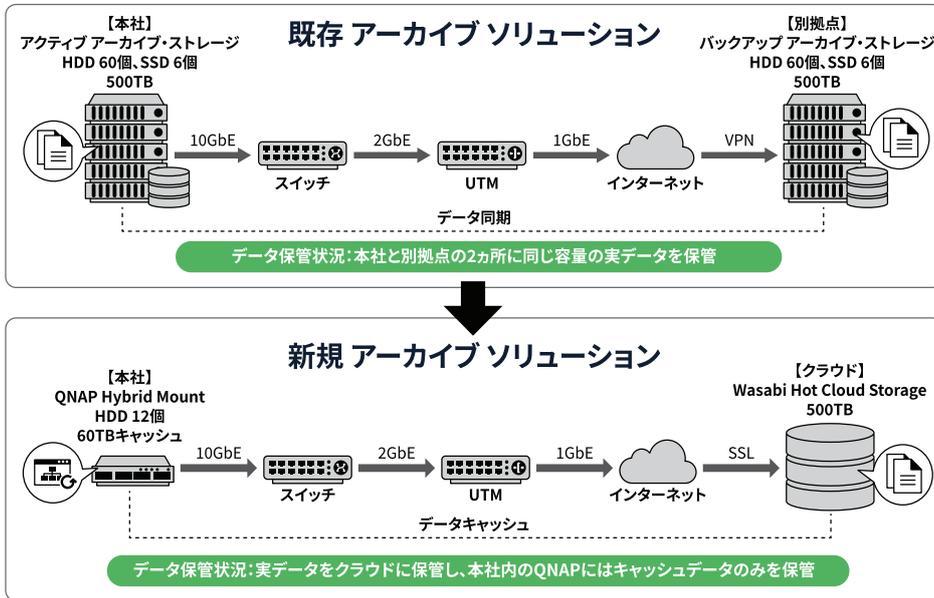
「アーカイブに関しては、データの損失がないことを第一に考えるのは当社のポリシーです。それをコストパフォーマンスも加味して実現してくれるという点で、Wasabi+QNAPソリューションに決めました」（三澤氏）

## 結果

三澤氏は、Wasabi+QNAPで実現する新ソリューションで望んでいる効果について、次のように語ります。「インフラコストは既存のシステムとそれほど変わらない状況で、管理運用コストは80%ぐらいは減るのではないかと考えています。HDD障害対応や、ハードウェア更改対応から解放されて、本来のシステム管理業務に専念できるのは非常に大きいです。

さらに、新ソリューションを導入したことで、拡張性も持てるようになりました。当社には複数の制作拠点があり、現在、主要な拠点とは専用回線を敷設してアーカイブデータを利用できるようにしています。しかし今後は、インターネット回線だけで、必要などの拠点からもWasabi上のデータを利用できるようにする、といったことが実現できます。

カラーの作品資産を守り抜くためのデータアーカイブにおいて、ハードウェア運用管理につきまとう労苦から三澤氏を解放し、地に足のついたクラウドソリューションを実現しました。



株式会社カラー  
システム部 主任 システムエンジニア  
三澤 一樹氏



©カラー『シン・エヴァンゲリオン劇場版』  
Blu-ray&DVDキングレコードより発売中

## Wasabiについて

Wasabiは米国ボストンを拠点としており、データストレージを低価格、予測可能かつセキュアに提供することで、世界中のデータを保存することを使命としています。先見性のある企業は予測不能な料金やベンダーロックインに悩まされることなく、いつでも自由に自社のデータを利用し、業界で急成長を続けている独立系クラウドアプリケーションパートナーであるWasabiのエコシステムを活用して最高のソリューションを自由に構築できます。世界中のお客様とパートナーが、自社のデータを活用することで、潜在的な力を最大限に発揮しています。日本では東京と大阪でデータセンターを運用しています。詳細については、<https://wasabi.com/ja/> をご覧ください。

Email  
[japansales@wasabi.com](mailto:japansales@wasabi.com)

**wasabi**  
hot cloud storage  
[www.wasabi.com/ja](http://www.wasabi.com/ja)

無償トライアルは  
こちらから →

